

## 市民の声

### 市役所の立地やあり方について

◎片山議員 時代のトレンドをよく見通したうえで、市役所の立地やあり方を考えることが大切である。新しい発想で新しい丸亀市をつくるには、旧来の壁を破ることを期待する。

▲市長 市庁舎整備については決して市庁舎だけの問題ではなく、市民会館など周辺施設のあり方も含めた大手町地区のまちづくり構想と捉え、本市のシンボル丸亀城からの魅力発信や市中心部の活性化、その他の地域課題を乗り越えていくために、

### 議会を

### 見に来ませんか

本市議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局へ

(TEL 2418828)

市庁舎はどうあるべきかを考えなければならぬ。今回の市庁舎整備は、今後のまちづくりを左右する本市にとっての新しい挑戦である。幾多の課題を丁寧に整理しながら、将来を見通して、まち全体の発展の礎となるものとして進めなければならぬと考える。

## 日本共産党

### 市役所等整備の考え方について

◎中谷議員 市役所等の整備は、建設費用や場所という点から議論を始めるのではなく、丸亀の将来を見通したまちづくりという大きい構想から市役所のあり方を絞り込んでもらいたい。

▲市長 大手町地区公共施設のあり方については、昨年の市議会に市庁舎整備等特別委員会を設置され、庁内にも検討会議を設置し、検討を進めてきた。現在、市庁舎、市民会館、生涯学習センター、資料館の整備の方向性に関するパブリックコメントを実施している。今後、この結果を受けて、市の整備基本方針を示し、新年度から庁舎の建設地

や機能、費用等を盛り込んだ基本構想の策定に着手するが、策定に当たっては、本市の将来を見通したグラウンドデザインをしっかり描いたうえで進めることが何よりも重要と考える。

## 公明党

### 市民相談室設置 何を指すのか

◎内田議員 市民に開かれた相談室を望むが、市民相談室はどのような意図で、何を指しているののように設置するのか。

▲市長 市民との対話重視、相談体制の維持拡充を図るため、本館2階に市民相談室を置くとともに、綾歌・飯山市民総合センターの市民生活担当を市民生活相談担当に名称を改め、可能な限り多くの市民の声を聞き、問題解決や各種相談に応じられるように、窓口の体制を充実したい。また、市民に分かりやすいよう相談窓口であることを表示し、最初の相談窓口として活用してもらう一方、綾歌、飯山の両センターと連携し、市民相談や市政に関する意見、要望の集約を行い、情報を共有したう

## 元気会

### うちの常設展示館・ 物産館のコンセプトは

◎神田議員 老朽化したうちの港ミュージアムと城内観光案内所に代わるうちの常設展示館・物産館の整備に取り掛かることだが、今後の計画は。

▲市長 初年度に、建築・展示設計と設置を検討する市民ひろば周辺整備計画に取り組みたい。次年度には、建築工事、展示制作に取り掛かり、駐車場等一部周辺整備も実施し、3年後のオープンを目指す。本市の伝統産業の丸亀うちわを後世に伝えるための展示機能、うちわ制作の実演鑑賞や制作体験などの体験機能、地域活動の場として市民が気軽に集い活用できるように機能、定住自立圏域の地場産品やお土産の販売などのおもてなし機能、観光案内や丸亀ブランドのPR、情報発信などのガイドランス機能を併せ持つものにしたと考えている。

# 11人の議員が 市の考えを問う

## 総括質疑

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

### 真鍋 順徳

- ①子育て環境の整備②防災対策及び危機管理体制の強化③生活道路及び土地改良施設等の整備④新年度予算と今後の財政運営

### 藤田 伸二

- ①再生可能エネルギーの利用促進②電気購入入札の拡大③消防力の強化

### 山本 直久

- ①本市の財政状況の見通しとこれまでの行革に対する評価②派遣職員から臨時職員に一部変更することに関して③産業振興のための新規施策④カマタマーレ讃岐の試合でのPR⑤猪熊弦一郎現代美術館での展示の提案

### 三宅 真弓

- ①市民相談室設置に関して②効率的な水供給のための配水

ブロック化に関して③合併処理浄化槽設置における問題点④子宮頸がん予防接種ワクチン

### 水本 徹雄

- ①市長相談室の総括と移設の経緯②安心生活創造推進事業に関して③市内公共交通機関の現状と今後の対策④(仮称)うちわの常設展示館・物産館の問題点

### 多田 光廣

- ①梶市政における特色とアピール政策②「日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る」に関して(空き家対策)③「誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る」に関して④「心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る」に関して

### 加藤 正員

- ①人口減少化対策②不法投棄への対応と防止策③綾歌・飯山市民総合センターの耐震性と今後

の整備計画

### 福部 正人

- ①公文書館の設置に向けた具体的取り組み②防犯カメラの設置推進③駅前イルミネーションの継続実施④図書館に読書通帳の導入を⑤スクールサポートチームを設置する考え⑥授業力向上に向けた取り組み

### 佐野 大輔

- ①安心キットの有用性と普及促進②市の産業振興のための重点施策

### 尾崎淳一郎

- ①スポーツ行政②産業振興行政③教育行政

### 三木 まり

- ①水道事業の耐震対策など②空き家の現状と対策③野犬の被害状況と対策④競艇事業の新年度の取り組み⑤男女共同参画の観点からの人材育成⑥児童虐待・DV対策等支援事業



## 土地改良事業

### 補助率改正を望む

◎真鍋議員 自助、共助意識の定着化と農業生産基盤の保全、田園住宅都市丸亀の環境形成と保全のため、土地改良事業補助率の改正を望むが、見解は。

▲市長 平成26年度より、丸亀市土地改良事業補助金交付要綱の補助率の見直しを行う。国庫補助事業のため池、かんがい排水路、農道及び圃場整備については、地元負担率を事業費の10%から5%に設定したい。次に、単独県費補助事業のため池の市の補助率を25%から40%に上乘せし、地元負担率を事業費の10%とする旨の補助率の上乗せをしたい。また、単独市費補助事業のため池の地元負担について、同様に改修整備を推進するため、単独県費補助事業と同率の10%に見直したい。また、かんがい排水路の単独市費補助事業の補助率についても、単独県費補助事業のかがい排水路と同様に、市の補助率を50%から80%に上乘せし、地元負担率を事業費の20%とする旨の補助率

の上乗せをしたい。

## 太陽熱利用システム 設置費補助金の創設

◎藤田議員 再生可能エネルギーの更なる利用促進を図るため、太陽光発電だけではなく、太陽熱利用システム設置費に対する補助制度を新年度から創設してはどうか。

▲市長 東日本大震災後、我が国のエネルギー事情は大きく変化し、本市の属する四国電力管内でも、伊方原発停止後の電力需給安定のため、夏季と冬季を中心に節電要請がされている。このような情勢の中、再生エネルギーの更なる利用促進を図るうえでは、太陽熱利用システムの普及は今後の重要な施策の一つである。太陽熱利用システムは、太陽のエネルギーから電気ではなく温水などの熱を生むという点で太陽光発電とは異なるが、給湯や冷暖房に利用でき、エネルギー効率は高く、初期投資が太陽光発電システムと比べて低額に抑えることができるため、補助制度の創設により普及拡大が期待される。新年度から

の実施は困難だが、今後実施に向けて調査研究に取り組みたい。

## カマタマーレ讃岐 大うちわで応援を

◎山本議員 J2リーグに昇格したカマタマーレ讃岐の本拠地として、県立丸亀競技場で公式戦21試合が開催される。そこで、ホームの試合の時に、うちわのPRのため、丸亀特産の大うちわを活用して応援してもらってはどうか。

▲都市整備部長 J2昇格によって、全国各地から21チームが訪れるとともに、スカパー！をはじめとしたマスメディアへの露出も増えることが予想される。丸亀特産の大うちわによる応援については、高校野球の甲子園でもおなじみの名物となっており、J2リーグでも実現できれば、話題性のある有効なPR手段になるものと思われる。大うちわの件については、既にカマタマーレ讃岐に紹介しており、観戦を妨げない応援方法や場所、うちわに表示する内容など、Jリーグの規制に抵触しなければ問題ないであろうとの回答を得

ている。今後、実現に向けて、正式に手続きを進めたいと考えている。



カマタマーレ讃岐を応援する人々

## 合併処理浄化槽 設置の問題点

◎三宅議員 合併処理浄化槽設置費用の補助基準が利用者のニーズと合致していないようだが、直接の窓口としての行政にあっては、この画一的な制度について、どうすべきと考えるか。

▲上下水道部長 本市が現在合併処理浄化槽設置の補助事業で運用している大きさの決定は、県の基準を準用し、建物の延べ床面積により行っているが、設

置する合併処理浄化槽の大きさなどに対し、窓口に来られた相談者から要望や意見をいただきたい。本市においても、現在の基準が実情と合っていないこと、また、市民からの要望も考慮し、現在の延べ床面積のみによる大きさの決定だけではなく、実際に使用する人数による大きさの決定も選択肢の一つとして行えるよう、基準の見直しを、県を通じ国に対して要望していきたい。

## 空き店舗活用で 街なかのにぎわいを

◎水本議員 街なかのにぎわいづくりのために、商店街の空き店舗を活用して、京極家編纂の「西讃府志」を参考に、職人らによる実演販売を全国から公募し、うちわなどをユーチューブで全世界に発信してはどうか。

▲産業文化部長 丸亀京極家が藩制末期に製作した「西讃府志」は、藩領の歴史や産業などが掲載され、現存する県西部地域に関するまとまった記録としては唯一のものである。その中には、うちわや刀などの職人が、

かつて藩内の特定エリアで数多く活躍したことが書かれており、こういった歴史も踏まえ、全国から手づくり職人を募り、商店街に集積して全国に発信していくという事は、街なかのにぎわいづくりのための方策の一つであり、貴重な御意見として、今後本市が目指す空き店舗対策事業の参考にしていきたい。



資料館で展示中の西讃府志

## 空き家問題 効果的な対策は

**Q**多田議員 本市の実情に応じた効果的な空き家対策として条例制定が急がれるが、現状どの程度準備ができてきているのか。

**A**生活環境部長 本市において

は、現在運用している空き家バンクによる活用促進を図り、空き家の発生抑制に努めている。それとともに、空き家等に対する円滑な対応の実効性を確保するため、国の動向も注視しながら、税情報も含めた所有者等の実態調査や家屋立入調査等の実態調査権を持ち、所有者への効果的な行政指導が可能となる条例等の整備が必要と考え、今年度、準備を進めてきたところだが、現在のところ国において進展が見られない。このため、新年度において、条例の提案ができるよう準備を進めているところである。

## ごみの不法投棄 早急に対応を

**Q**加藤議員 林道畦田金剛院線の林道における不法投棄について、この状況をどのように認識し、またすぐに回収すべきであると考えますが、その対応は。

**A**産業文化部長 林道畦田金剛院線沿いから林道西側の谷に向かって不法投棄されたごみが落ち葉などに隠れて多数散在している箇所は、大部分が緑豊かな



不法投棄されたごみ

自然環境を保有する綾歌森林公園内に位置し、環境保全すべきエリアであるため、不法投棄されたごみの詳細把握に努め、早急に対応し、解決すべきであると十分認識している。不法投棄されたごみ処理の手順としては、まず警察と協調してその投棄者の特定に努め、判明した場合、再犯防止のためにも警察からの指導、取り締まりを経て、投棄者の責任で処理してもらおう。投棄者が特定できない場合、林道を所管する農林水産課などの関係課が連携して、ごみの早期回収に努めたい。

なお、ごみが散在する場所は急峻で谷が深く、作業には困難が予想されることから、ごみの処理業務を一部委託するなど予算措置も必要であると考えているため、新年度のできる限り早い時期に取りかかれるよう進めていきたい。

## 公文書館設置に向けた 具体的な取り組み

**Q**福部議員 本市においても、公文書館の必要性を鑑み、その役割や機能、施設整備のあり方等について検討を行う公文書館基本構想検討委員会を早期に設置してはどうか。

**A**総務部長 まずは公文書館のあり方や位置づけについて、ハード面の課題や総合的な公文書館といった面などから検証、分析し、本市として最適な文書管理についての基本的な方向性を決めた後、市民や専門家などの意見を反映させるための検討委員会等の設置や、その使用について、県内の先進自治体である高松市や三豊市の事例を参考にしながら、体制づくりに取り組んでいきたい。

